

頼れる相棒 お仕事猫

番外編

ただそばに癒やしが存在

銭湯の「総監督」

札幌市北区の銭湯奥の湯には「総監督」を務めるメ



⑥銭湯の番台で店番するタマ。最近は隠居生活を送る

スの三毛猫タマがいる。推定23歳。3年ほど前までは、奥の湯を切り盛りする2代目古名町子さん(64)の後を一緒に回るのが日課だった。長寿のため、最近隣接する自宅でじっとしていることがほとんどだが、夏場などはたまに銭湯にやって来るといふ。ボイラー室から浴場、脱衣所と隅々まで歩き、伸び上がる浴槽の中もじっとのぞき込む。「掃除がきちんと行き届いているか、厳しく目を光らせているようです」と古名さんは笑う。番台に座り、店番をすることもある。段ボールに入れられ、捨てられていたタマが奥の湯にやってきたのは21年前。

もはや古名家にとって欠かせない一員だ。昨年1月、古名さんの長男智亮さん(36)が銭湯の跡を継いだ。古名さんもタマも、若い世代の奮闘を温かく見守っている。